

令和6年度 1学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

1. 1学期の学習成果(○)と課題(▲)

○主体的な学習態度が身に付いてきている。課題や問題に落ち着いて考え、集中して取り組む時間が伸びた。学習に対して前向きに努力している。

○家庭学習を継続的に行うことができた。

▲学力や学習習慣の格差がみられる。

2. 各教科の授業改善プラン

【国語】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆ひらがななどの文字や助詞、拗音、長音、濁音、促音の表記に個人差がある。</p> <p>○時間をおいて反復練習をしたり、個別に指導したりする。</p>	<p>◆個人差がみられる。文字を意味のまとまりや言葉として捉えることが苦手な児童がいる。</p> <p>○情景が頭に浮かぶよう短く区切ったり、劇化したりするなど指導を工夫する。</p>	<p>○見通しをもたせるために学習の流れを一緒に確認し、終わりは振り返りを行う。</p> <p>○主体性を高めるため、児童が興味のある課題を提示したり活動に工夫したりする。</p>

【算数】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆個人差が大きい。加法及び減法の意味を理解し、それらを用いることに課題がある児童がいる。</p> <p>○具体物を用いたり、場面の様子を絵や図で提示したり書かせたりして、内容が理解できるようにする。</p>	<p>◆文章題の立式に課題がある。</p> <p>○問題に下線を引かせ、立式に必要な数や言葉に注目させ考える習慣をつける。</p>	<p>○学んだことをすすんで生活や学習に生かせるよう、日常生活の体験から確認したり、意図的に発問したりする。生活に関わっていることを実感させる。</p>

【生活】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆生活体験から得られた知識が豊富な児童と体験不足な児童との差が大きい。進んで活動する児童がいる反面、消極的な態度になる児童がいる。</p>	<p>○可視化することで、観察の視点が明確にする。自然環境を生かし、工夫して遊ぶことができるような場面を設定する。</p>	<p>○学習計画を示すことで見通しをもたせ、単元ごとの活動の振り返りを大切にする。児童が興味をもてる課題や活動の工夫をし、主体性を高める。</p>

○自然の中での体験を増やす。 また、多くの人に支えられていることに気付くような場面を意図的に設定する。		
--	--	--

【音楽】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○打楽器(タンブリン・カスタネットなど)や鍵盤ハーモニカに親しみ、簡単な曲を演奏できるようにする。	○曲や演奏の楽しさを見出せるよう、曲全体を味わって聴いたり、体全体を使ってリズムなどをとったりする場を設ける。	○いろいろな曲に親しみ、音に関する興味・関心を広げ、楽しく歌ったり演奏したりできるようにする。

【図画工作】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆はさみやのりを扱う能力には個人差がある。 ○正しい使い方について改めて指導するとともに、授業以外でもはさみやのりを扱う機会を意図的に設定していく。	◆自ら想像力を働かせて作品に表す能力に個人差がある。 ○児童一人一人の表現方法を認め、褒め合えるように鑑賞の機会を多く設定していく。また、材料と触れ合う時間を十分に確保し、色や形、イメージなど、表現のポイントを明示する。	○主体的に学習に取り組み続けられるように、単元の導入での題材の提示の仕方を工夫する。また、色々な材料を使って色々な方法を試せるようにし、主体性を高める。

【体育】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆児童の生活経験や生活習慣の違いから、児童間の運動能力の差が見られる。(特に体力テストのソフトボール投げ・上体起こし) ○様々な基本の運動を多く体験させ、幅広い運動経験を積み重ねられるようにする。また、動きのポイントを具体的に指導していく。	○自らの力に応じて運動を工夫したり、自分に合った楽しみ方を選択できるように、運動する場の工夫をしたり、友達と互いの運動について見合ったりする時間を設定する。	○児童が楽しみながら運動に取り組めるようにルールや練習方法を工夫したり、運動量を十分に確保したりする。

